学校番号	1008

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	（学）スクリーン英語	2	3	独自教材

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

英語の映画を鑑賞し、作品内で使われている生きた英語と描かれている文化、生活、時代背景などについて学びます。
具体的には、セリフの聴き取り練習を通して、リスニング力を高めます。また、作品内で使われている表現を学んだり、その表現を使って英文を作ったりする練習をします。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	作品中のセリフを、字幕を見ながらであれば、ある程度聴き取ることができる。映像情報も利用しながら、作品の背景にある文化、習慣、考え方等を理解する。		日常的な話題について、目的や場面、状況などに応じて、作品中の表現を適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを伝え合うことができるようにする。	作品の内容（文化、背景など）や感想などを、話して伝えることができる。	日常的な話題について、目的や場面、状況などに応じて、作品中の表現を適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを書くことができる。作品の内容（文化、背景など）や感想などについて、まとまった英文を書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	（評価の観点） ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	（評価の観点） コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	（評価の観点） 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	Lesson 1 “Finding Nemo” Lesson 2 “Sister Act 2” Lesson 3 “Back to the Future Ⅰ”	聞くこと	a: 指定した場面のセリフを聴き取ることができる。 b: 登場人物の発言の意図や背景にある考え方等を聴き取ることができる。 c: セリフを聴き取るだけでなく、登場人物の発言の意図や背景にある考え方等を聴き取ろうとする。	a. 定期考査、小テスト b. 定期テスト、パフォーマンス課題 c. パフォーマンス課題、リフレクションシート
		話すこと（やり取り）	a: 指定した場面に使われている重要表現を習得している。 b: 日序的な話題について、作品中の表現を使って、自分の考えを伝え合うことができる。 c: 日序的な話題について、作品中の表現を使って、自分の考えを積極的に伝え合おうとする。	a. 小テスト b. パフォーマンス課題 c. パフォーマンス課題、リフレクションシート
		話すこと（発表）	a: 指定した場面に使われている重要表現を習得している。 b: 作品の感想や描かれている文化や背景について、自分の考えを伝えることができる。 c: 作品の感想や描かれている文化や背景について、自分の考えを積極的に伝えようとする。	a. 小テスト b. パフォーマンス課題 c. パフォーマンス課題、リフレクションシート
		書くこと	a: 指定した場面に使われている重要表現を習得している。 b: 日常的な場面や作品の感想、描かれている文化や背景について、自分の考えを伝えることができる。 c: 作品の感想や描かれている文化や背景について、自分の考えを積極的に伝えようとする。	a. 小テスト b. パフォーマンス評価 c. パフォーマンス評価、リフレクションシート
	期末考査			
2	” Lesson 4 “Rapunzel” Lesson 5 “Back to the Future Ⅱ” Lesson 6 “Scissorhands” Lesson 7 “John Q”	聞くこと	a: 指定した場面のセリフを聴き取ることができる。 b: 登場人物の発言の意図や背景にある考え方等を聴き取ることができる。 c: セリフを聴き取るだけでなく、登場人物の発言の意図や背景にある考え方等を聴き取ろうとする。	a. 定期考査、小テスト b. 定期テスト、パフォーマンス課題 c. パフォーマンス課題、リフレクションシート
		話すこと（やり取り）	a: 指定した場面に使われている重要表現を習得している。 b: 日序的な話題について、作品中の表現を使って、自分の考えを伝え合うことができる。 c: 日序的な話題について、作品中の表現を使って、自分の考えを積極的に伝え合おうとする。	a. 小テスト b. パフォーマンス課題 c. パフォーマンス課題、リフレクションシート
		話すこと（発表）	a: 指定した場面に使われている重要表現を習得している。 b: 作品の感想や描かれている文化や背景について、自分の考えを伝えることができる。 c: 作品の感想や描かれている文化や背景について、自分の考えを積極的に伝えようとする。	a. 小テスト b. パフォーマンス課題 c. パフォーマンス課題、リフレクションシート
		書くこと	a: 指定した場面に使われている重要表現を習得している。 b: 日常的な場面や作品の感想、描かれている文化や背景について、自分の考えを伝えることができる。 c: 作品の感想や描かれている文化や背景について、自分の考えを積極的に伝えようとする。	a. 小テスト b. パフォーマンス評価 c. パフォーマンス評価、リフレクションシート
	期末考査			

3	Lesson 8 “The Nightmare Before Christmas” Lesson 9 “The Devil Wears Prada”	聞くこと	a: 指定した場面のセリフを聴き取ることができる。 b: 登場人物の発言の意図や背景にある考え方等を聴き取ることができる。 c: セリフを聴き取るだけでなく、登場人物の発言の意図や背景にある考え方等を聴き取ろうとする。	a. 小テスト b. パフォーマンス課題 c. パフォーマンス課題、リフレクションシート
		話すこと（やり取り）	a: 指定した場面に使われている重要表現を習得している。 b: 日序的な話題について、作品中の表現を使って、自分の考えを伝え合うことができる。 c: 日序的な話題について、作品中の表現を使って、自分の考えを積極的に伝え合おうとする。	a. 小テスト b. パフォーマンス課題 c. パフォーマンス課題、リフレクションシート
		話すこと（発表）	a: 指定した場面に使われている重要表現を習得している。 b: 作品の感想や描かれている文化や背景について、自分の考えを伝えることができる。 c: 作品の感想や描かれている文化や背景について、自分の考えを積極的に伝えようとする。	a. 小テスト b. パフォーマンス課題 c. パフォーマンス課題、リフレクションシート
		書くこと	a: 指定した場面に使われている重要表現を習得している。 b: 日常的な場面や作品の感想、描かれている文化や背景について、自分の考えを伝えることができる。 c: 作品の感想や描かれている文化や背景について、自分の考えを積極的に伝えようとする。	a. 小テスト b. パフォーマンス評価 c. パフォーマンス評価、リフレクションシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度